

報道関係者各位

2019年4月1日

大東建託グループ協賛、fukushimaさくらプロジェクトの福島・東北復興イベント プロジェクションマッピングイベント「はるか2019」に1万2,000人が来場

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小林克満)と大東建託グループみらい基金が、2016年より協賛している「fukushimaさくらプロジェクト」のプロジェクションマッピングイベント「はるか2019」が、3月21日(木・祝)～23日(土)に開催されました。

2013年から始まり、7年目となる今回は、“SAMURAI CITY会津若松”を多くの方に感じていただくため、昨年好評を博したテーマ「戊辰の風 花の雲」をバージョンアップした内容で鶴ヶ城(住所:福島県会津若松市)に映し出し、約1万2,000人の方にご来場いただきました。



鶴ヶ城に投影されたさくらの花吹雪

■支店が主体となって地域コミュニティの活性化を目指す

当社は2015年より、地域コミュニティの活性化を推進するため、地域住民を巻き込んだ消防署との合同消防訓練や、地域の高等学校向けに職業体験を行うなど、支店が主体となった様々な活動を実施しています。

本イベントでは、その一環として、会津若松支店(住所:福島県会津若松市)が企業ブースを出展しました。ブースでは、ご来場いただいた方々から、未来への期待や希望を込めたメッセージを募り、集まったメッセージでさくらの木を完成させました。

当社は今後も、地域に密着した活動を通じ、地域コミュニティの活性化に貢献していきます。



企業ブースの様子



未来へのメッセージを書く来場者



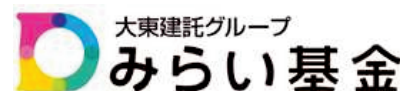
集まったメッセージで作られたさくらの木

■大東建託グループみらい基金とは

大東建託グループは、従業員と会社の共同基金である「大東建託グループみらい基金」を2015年4月に設立し、「地方創生」や「災害復興」に寄与する活動・団体を支援しています。

当基金は、東日本大震災の遺児支援を目的に、2012年5月に設立された「大東建託グループあしなが基金」から目的と名称を変更したものです。基金に参加する従業員からの積立金とあわせ、従業員による積立金と同額の会社寄付や株主様からの寄付で当基金は成り立っています。

今後もみらい基金の活動を通して、地域の皆さんと交流する機会を作り、活気あふれる街づくりに寄与していきます。(詳細ページURL:<http://www.kentaku.co.jp/mirai/>)



○関連ニュースリリース/2019年1月9日

大東建託グループ協賛、fukushimaさくらプロジェクトの福島・東北復興イベント プロジェクションマッピングイベント「はるか2019」開催決定
http://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2019/aqehc400000adzs-att/sakurapj_0109.pdf

＜本件に関するお問い合わせ＞

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174